
LOVE ~ 秘密の恋 ~

さち子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

LOVE ～秘密の恋～

【コード】

N1506F

【作者名】

さち子

【あらすじ】

水城くんにもいろいろな想いが・・・？LOVE第3弾目です！

(前書き)

これだけ見てもパツとこないかもしれません。
出来たらLOVE へ届け この想いへ
から読んでみてください。

僕は本が好きだ。

みずきしんいちろう
水城伸一郎。15歳。図書委員長。本が読むことが好き。

でももっと好きなモノがある。

「ちょっと　　っ！めがねっ！マオに喋りかけないでよっ！」ガ
ミガミ

この子だ。

とてもうるさい。

でも知っている。

この子の秘密

あの時　　気づかなければ良かった。

いつものように僕は図書室に来た。

無論、本を読むためだ。

その時、図書室で泣き声が聞こえた。

芦木だった・・・

泣いていた

町田の写真を見て・・・

その時、分かった。

この子は町田春奈が好きなのだ

胸が痛んだ。

僕は芦木を好きだったらしい。

可哀想な恋をしている芦木。

叶わない恋だと分かっているのに・・・多分

それから2カ月後

「水城くん・・・好きですッ！つつ付き合って!!」

僕は図書室で告白された。

町田春奈に。

「エッ・・・？」

町田が僕を好きなのは何となくは気づいていたがまさか今とは思わなかった。

久しぶりに惑わされた。

どうしよう・・・

芦木も来ている。

目は・・・悲しそうだ。

「それで。水城の返事は？」

チナが聞いてくる。

えっ！もう？どうしよう・・・

町田が不安そうだ

芦木はこっちを見ようとしない・・・

・・・

「・・・ロスタイムで・・・。」

精一杯の言葉だった。

みんな笑っていたが芦木は笑っていないような気がした。

でもホッとしているようだった。

何だか僕もホツとした。

僕は気づいた。

芦木は叶わない恋をしていた。

でも……でも僕も叶わない恋をしているんだなって……。

完」

「

(後書き)

どうでしたか？

感想お待ちしています。

(LOVE) みんなの恋ももつすぐ出ます。楽しみにしていて
下さい。)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1506f/>

LOVE ~ 秘密の恋 ~

2010年12月31日14時37分発行